

令和元年度第2回いわて県民情報交流センター(アイーナ)指定管理者選定・評価委員会
〔 議事録 〕

日 時：令和元年9月25日(水) 13:30~15:50

場 所：いわて県民情報交流センター(アイーナ) 会議室602

出席者：

区分	所 属	職 名	氏 名
委員長	公立大学法人岩手県立大学総合政策学部	学部長	吉 野 英 岐
副委員長	特定非営利活動法人クチェカ	理事長	橋 場 覚
委員	一般財団法人 北海道東北地域経済総合研究所	専務理事	伊 藤 賢 治
	岩手弁護士会	弁護士	佐 藤 あすか
	CAP岩手	運営委員長(代表)	高 橋 寿美子
	一般社団法人岩手県建築士会盛岡支部	副支部長	武 田 裕 次
	Coaching Office	代表	平 野 順 子
事務局	岩手県環境生活部 若者女性協働推進室	連携協働課長	工 藤 祝 子
		主任主査	加 藤 肇
		主任主査	立 花 紅
		主査	刈 上 恭 子
指 定 管 理 者	統括グループ	統括責任者	越 田 仁 孝
		維持管理業務 総括責任者	高 橋 ひとみ
	運営グループ	運営業務総括責任者	澤 田 良 久
		運営業務責任者	藤 澤 剛 彦
	維持管理グループ	維持管理業務責任者	菅 野 清 志
		維持管理業務副責任者	田 中 直 樹
	清掃グループ	清掃業務責任者	田 中 義 夫
	警備グループ	警備業務責任者	大 坪 隆 行

1 開会 2 挨拶（工藤連携協働課長）に続き、吉野委員長の進行により審議を行った。

3 議事

(1) 平成 30 年度指定管理業務の評価について

ア 評価の実施方法について

（事務局から資料 1 により説明）

（質問等なし、事務局案のとおり評価を進めることとなった。）

イ ヒアリング

【質疑応答】

（指定管理者から評価項目「①快適な利用環境の創出」の実績等について説明）

- 佐藤委員 早朝入館への対応が増えているが、どのような団体のニーズなのか。
- 指定管理者 主に学会が多い。他には全国共通で時間指定のあるテストなどが多い。
- 高橋委員 地域連携の取組が素晴らしいが、スタッフの負担が増えているのではないかと。
- 指定管理者 無理なく行っている。シフト管理をきちんと行い、働きやすい環境の維持に努めている。
- 橋場副委員長 ビルクリーニング品質インスペクター有資格者による業務・品質チェックというのは清掃の維持管理の方法においては、一般的なのか。
- 指定管理者 そうである。
- 橋場副委員長 フルハーネス型墜落制止用器具特別教育の受講については、一般的なのか。
- 指定管理者 照明家協会主催の講座を受講。関係政令の改正により一定の作業においてはフルハーネス型の安全帯を労働者に使用させることや、当該労働者に対し特別教育を行うことが事業者には義務付けられたことに対応したもの。
- 吉野委員長 当館だと小田島組☆ほ～るが対象ということか。
- 指定管理者 そうである。当館は多目的ホールで、照明の位置がかなり高いので、安全には気をつけている。

（指定管理者から評価項目「② 利用者の声の反映／県民参加型の施設運営」の実績等について説明）

- 武田委員 人件費の上昇により事業費が下がっているという説明があったが、事業の回数などは増えている部分もあり、質の低下につながるのか。5年間で人件費が上がり続けるような場合は委託費の調整があるのか。
- 指定管理者 経費のかからないイベントも増えており、予算の中でやりくりをしていることから、質の低下はなかったと考えている。
- 武田委員 委託費の調整等はないが、決まった委託料のなかでやりくりを行っている。
- 岩手県 今後、人件費は上がっていくと思うが、5年間見直せないのは指定管理者にとって大変ではないか。
- 平野委員 県と指定管理者の契約の中で上限は定めるが、人件費と事業費等の内訳は設定しない。契約した委託料の中でお願いした業務を行っていただき、毎月のモニタリング等でその出来栄を確認することになる。
- 平野委員 苦情要望において、高校生の態度が悪いという内容が多いとのことだが、そのことへの対応はどうしているのか。

- 指定管理者 館内を回って地道に声をかけるという対応に尽きる。これまでの傾向として秋以降には、注意される行為がわかってきて落ち着いてくる。
- 平野委員 4階のフロアが利用されていると、賑わっている感じがする。4階の利用方法は会議室等と同じなのか、また指定管理者のほうから、利用を促す取組等を行っているか。
- 指定管理者 申込方法は同じだが、会議室等が午前・午後・夜間の3区分なのに対し、4階フロアは時間貸としている。こちらから出向いて営業活動を行うことは難しいが、イベントでの利用者に4階を利用しませんかという提案は行っている。
- 高橋委員 イベントについて、利用者の満足度等は把握しているか。
- 指定管理者 催事のうち、申込制のものは必ずアンケートを取って、次の催事に活かしている。不特定多数の方が参加するものはアンケートが難しいことから、参加者とコミュニケーションを取って感想等の把握に努めている。
- 伊藤委員 ラグビーワールドカップと連携した取組はあるのか。
- 指定管理者 ワールドカップとなると連携の敷居が非常に高い。商標使用だけでも費用も時間もかかり、カウントダウンボードの設置が限度であった。
- 吉野委員長 30年度のイベントで参加人数が多かったのはどんなものか。
- 指定管理者 外科や内科の全国規模の学会が多い。1日の入場者数が1万人を超えた日があったと記憶している。学会以外では、人数では比較にならないが、親子フェスティバルや男女共同参画フェスティバルは賑わっている。
- 吉野委員長 非常に学会がやりやすい立地なので、そういう営業をしてはどうか。
- 指定管理者 学会対応としては、通常は2年前から予約を受け付けているが、特別な事情がある場合として、大規模学会については3年位前から相談対応している。

(指定管理者から評価項目「③ 入居施設間の有機的な連携」の実績等について説明)

- 佐藤委員 入居施設相互にチラシを送付する取組については、周知依頼なのか、相手方にもどのように活用されているか把握しているのか。
- 指定管理者 他団体における活用方法までは把握できていない。発送費用もかかるので、全部ではなく連携できる催事のチラシについて送付している。
- 橋場副委員長 入居施設間の連携となってはいるが、市町村開催のイベント等とも連携を考えているのか。
- 指定管理者 我々が開催しているイベントをこちらから出向く形で大船渡市や宮古市の公共施設で同様に開催したが、想定しているのはその辺りまでである。
- 橋場副委員長 アイーナに入居している各センター等は、県として設置しているため、県全域が対象になる。よって各センターとの連携を考える場合は、館外に出ることも想定しておくことは必要だと考える。
- 高橋委員 入居団体によって催事案内等の方法が異なる。利用者への対応で連携していることはないのか。
- 指定管理者 リスク管理が必要な案件については、センター長会議で情報共有する場合があります。来館者への対応については、入口の催事案内ボードへの掲示等、一定のルールはあり、そこは情報共有している。また、3階窓口へのチラシの配架についても一定の基準で配架するかどうかを判断している。

(指定管理者から評価項目「④ 県民への情報提供」の実績等について説明)

- 高橋委員 県民への広報について、入居団体の主催事業の広報だけでなく、一般団体の行う催事も広報できないか。NPO活動交流センターは、一般団体の催事の案内等を行っているが、他のセンターは無料の催事に限る等の制限がある場合がある。有料の催事が悪いわけではなく、参加するかどうかは市民が各自で判断すれば良いのだから、情報提供はしてほしい。
- 指定管理者 市民活動も含めたポータルサイトとしてのアイーナではないかという御意見と思うが、掲示物については、スペースに限界があることと、運営する側として線引きが難しいということがある。掲示希望の催事案内全てを受け入れることはできないと考えるが、どういう整理がいいのかは今後の検討課題とさせていただきたい。
- 平野委員 ホームページのアクセス数が増えているのは良いが、優先度が高くなさそうなものがトップに掲載されている場合もあるように思う。組織としてどう精査して運営しているのか。
- 指定管理者 技術的な面ではCMSを使用している。投稿するイメージでホームページを作成し、フェイスブックやツイッターにも同じものを掲載できるようにしている。トップページの鮮度が落ちてきている認識はあることから、今年度中にホームページの更新を予定しており、現在検討中である。
- 平野委員 掲載内容はどうやって決定しているのか、外部のデザイナーに依頼しているのか。
- 指定管理者 内部の担当者は5～6名。内部で検討した内容を外部のデザイナーに発注し、やり取りしながら作成している。

(指定管理者から評価項目「⑤ 適切な施設運営」の実績等について説明)

- 伊藤委員 帰宅困難者に対する臨時避難所としての対応について、人数ほどの程度を想定しているのか。マリオスとはあらかじめ連携しているのか。
- 指定管理者 人数の想定ではないが、非常食を約1,000食分備蓄している。東日本大震災津波の際のピークが、1,000人程度だったので、その位が収容可能な規模だと考えている。
- 橋場委員 マリオスとの連携については、水害対応としてマリオスが行っている土嚢積み訓練には我々も参加している。今年度からはアイーナにおいても水害に対する訓練をしていくこととしている。
- 指定管理者 マリオスも避難所に指定されているのか。
- 武田委員 指定されている。
- 指定管理者 全部で1,000食ということか。
- 武田委員 米を1,000食、他にカンパン等も備蓄している。
- 指定管理者 自家発電での対応可能日数が1日程度だとすると、非常食だけ3日分あっても、水も出なくなるので実際はいられないのではないかと。期限切れになって大量に廃棄することになって困るので、備蓄量については、電気との兼ね合いも考える必要があるのではないかと。
- 指定管理者 1次的な対応としての備蓄量であり、避難が長期化する場合は、盛岡市等から補充があるものと考えている。

岩手県 避難所指定の際に、盛岡市から非常食の補充や職員派遣がある取り決めになっている。

(指定管理者退出)

エ 委員による評価

(各委員がヒアリングの結果に基づき事前評価の内容を見直し)

オ 委員会による評価、意見交換

各委員の評価結果の集計に基づき、評価項目毎の評価値について協議した結果、各項目とも「評価値 4 (概ね計画どおりの管理運営が行われている)」の評価となった。

【質疑応答】

高橋委員 欠席委員の意見も報告書に反映させるべきではないか。

岩手県 評価値の集計については含まないものの、評価報告書の意見については欠席委員からの意見も反映させた案としている。

吉野委員長 評価値は、委員の平均値をとるため、5になることはなかなか難しいが、高い評価をつけている委員の意見は指定管理者に伝えていただきたい。

(2) 平成 30 年度指定管理業務の評価結果報告書 (案) について

(事務局から資料 2 により説明)

【質疑応答】

吉野委員長 ただいまの説明に対して質問等ありましたらお願いします。

高橋委員 評価項目「③入居施設間の有機的な連携」の助言については、運営協議会やセンター長会議等の具体的な場を明示した方が良い。

吉野委員長 冒頭に「運営協議会等で」などを加えてはどうか。

事務局 そのように具体性を持たせた表現に変更する。

高橋委員 評価項目「④県民への情報提供」について、県内各地で行う市民が主体の取組も情報発信してほしいと思う。

吉野委員長 橋場委員も県ということを意識した取組の必要性について話されていたが、

橋場委員 県内各地でアイーナが知られているとはまだ感じられないので、入居団体と組んで外に出る等の取組をしていい段階にきていると考えている。

佐藤委員 非常に多くの掲載希望が来ると思われ、どの団体のどういう案内を載せるかという基準を決める必要があると考える。公の施設なので、何でも発信できますという運用はできないのではないかと。もう少し研究が必要と思われる。

吉野委員長 市民主体の活動をアイーナがどう PR していくのかということは研究してもらった方が良いとは考える。

平野委員 そもそもアイーナに情報拠点という役割が期待されているのか。アイーナで行う催事の発信では足りないということなのか、「県民主体」の考え方の基準が必要ではないか。

橋場委員 アイーナには、NPO等の新しい団体の活動のステージにするため、各入居団体のスペースのほかに市民活動のための活動室を設置している。現在その管理はNPO活動交流センターに委託している。

- 高橋委員 活動の紹介というより催事の情報発信をしてほしいと思う。掲載するかどうか行政が選ぶのではなく、情報として出ているものから県民が自分で選べば良い。
- 吉野委員長 指定管理者というより、県がアイーナにどういう役割を期待しているか、仕様書にどこまで盛り込むかも含めて、県内各地の催事情報をアイーナに取り込んで発信していくことについてどこまでできるのか、やらなければいけないことなのか、まずは県が検討しなければならないのではないかと。
- 高橋委員 イベントに参加すると、この催事情報を知るのに苦労したというような声を聴くので、そこを見れば載っているというサイトが欲しい。
- 岩手県 アイーナは情報発信基地であり、そこは今後検討したい。
- 吉野委員長 アイーナは県民情報交流センターという名称であり、連携協働担当で所管していることから、建物空間だけではないアイーナの機能について研究していただきたい。
- 岩手県 公的機関であるので、線引きは必要であり、その部分は検討したい。
- 吉野委員長 人件費アップについての御意見があったが。
- 武田委員 人件費は恒常的に上昇傾向にあると思う。人件費の水準が妥当かということもあるが、人件費の上昇分は事業費を削るという対応になれば、催事の質の低下にもつながるのではないかと。
- 岩手県 今回から5年間での入札を行った。特別な社会情勢の変化があれば別だが、基本的には人件費の上昇等も見越して応札いただいたものと理解している。
- 高橋委員 県の予算もあるので、人件費が上昇したら事業費で工夫するほかないと思う。
- 吉野委員長 施設利用料をあげることはできないのか。
- 岩手県 条例で上限が決まっている。
- 人件費が高騰し、業務水準が守れない状況になるようであれば、アイーナ以外の施設も含めて、県として何らかの方針を出すと思われる。

4 その他

なし

5 閉会